



今月の表紙

明和保育所のプール開きが6月27日、真夏を思わせる青空のもと行われ、みんなでプールの周りに集まり、テープカットをしたあと所長先生が水の神様となり安全を祈願した。この日を心待ちにしていた子どもたちはカラフルな水着に着替え、お友だちと水をかけあったりして今年最初のプールを思いっきり楽しんだ。

第2回只見町

ユネスコエコパーク検討委員会…	2～3
介護施設「桜の丘みらい」オープン…	4～5
県南・会津・南会津地域給付金を給付…	6～7
黒谷川・叶津川改良復旧事業工事開始 他…	8～11
町の話…	12～13

向けて町の現状を把握

第2回 只見町ユネスコ エコパーク 検討委員会



▲只見の自然などについて講話する新国勇副委員長

第1回の検討委員会では、ユネスコ（国連教育科学文化機関）エコパークについて学び、意見交換が行われ、理解を深めました。さらに、6月18日に朝日地区センターで第2回目の検討委員会が開かれ、前回委嘱された委員が出席、エコパークへの登録申請に向けて町の現状などを把握、意識を高めました。

只見の自然環境と人々の暮らしについて学ぶ

はじめに、副委員長の新国勇さん（只見の自然に学ぶ会代表）が「只見の自然環境と人々の暮らしについて」をテーマに只見の自然の特徴や、その中で生活する人々の営み、絶滅危惧種とされる生き物などについて講話されました。

内容としては、雪食地形など豪雪地帯ならではの自然や国内有数の森林生態系保護地域であることなどを説明、さらにその自然を利用する人々の暮らしがあり、そこには貴重な文化や財産が存在することや、最近の自然志向の高まりなども解説、最後に「只見町はエコパークの自然条件をすべて満たしている」と力強く意見を述べました。

エコパークへの登録要件について説明

エコパークに認定されるための一般的な基準（要件）について、鈴木和次郎只見町ブナセンター館長からの説明があり、鈴木館長は、生物多様性に優れていることや生物圏保存地域の機能である保全、開発、条件整備が有効に働くための十分な面積があること、また、これらは核心地域（保護地域）と緩衝地帯（保護目的の活動が可能な地域）、移行地域（資源管理が促進、開発され居住可能な地域）に適切に区分されることなどを具体的に解説され、只見町はおおむね基準をクリアしているとの見解を示されました。

町の現状を把握しエコパーク申請への思いを語る

渡部勇夫総務企画課長は、エコパーク登録申請にかかる町の考え方を述べました。

はじめに、町の人口の推移について平成22年が4932人で、昭和40年の9661人と比較すると45年間で約半数に減少したことを示し、続いて町の財政状況や昨年の豪雨災害の被害状況と復興基本方針などを説明した

後、今後の町づくりについて、道路環境の整備、特に国道289号八十里越え道路の開通を視野に入れた町の拠点づくりを町民と行政が一体となって進めていく必要があると話しました。

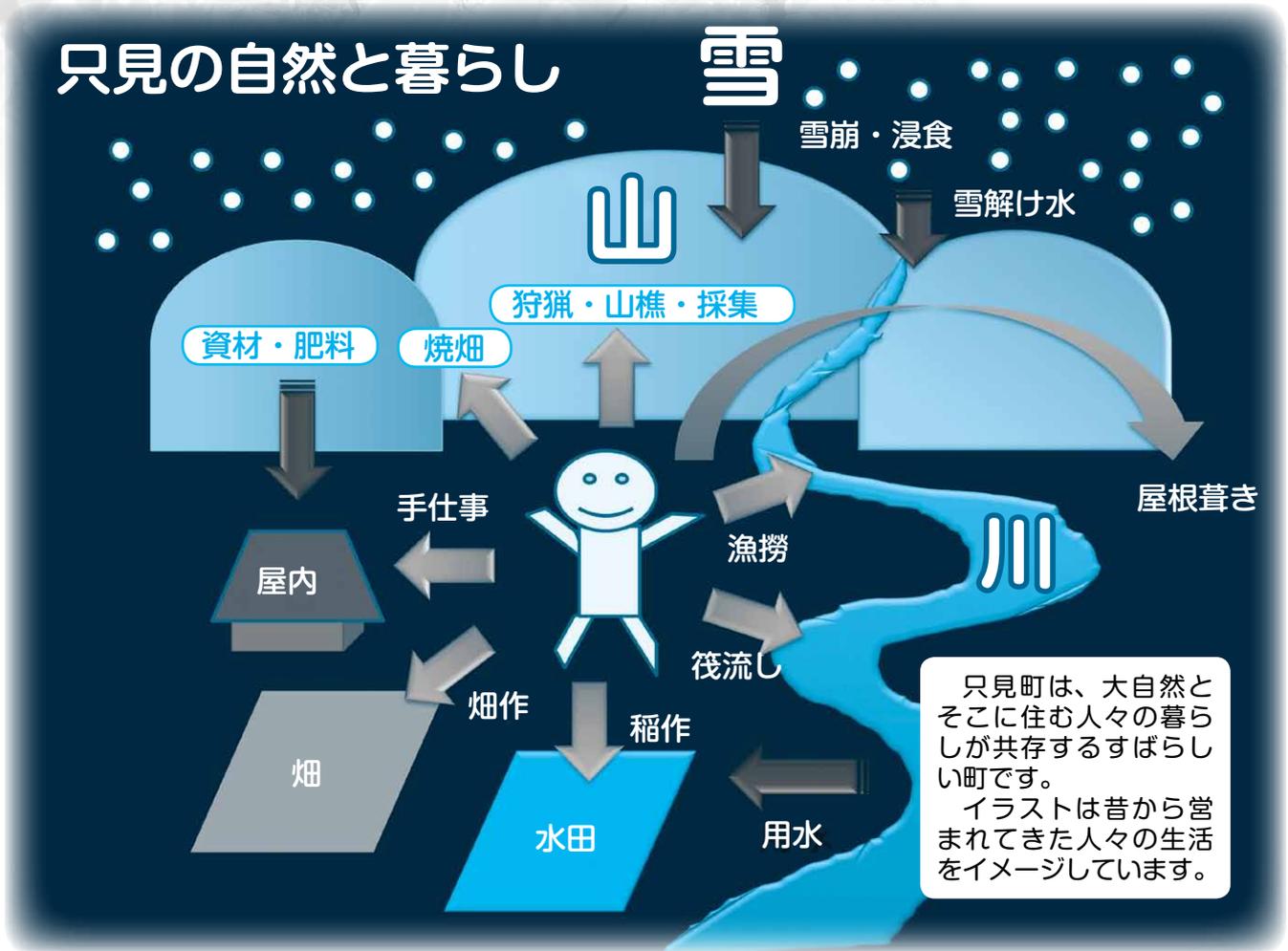
また、エコパーク登録申請についての町の考えとして、自然環境を保護するところ、使用するところをきちんと整備することが目的。さらに自然首都・只見のブランドを確立させ、様々な地域産業の発展と創出に生かせる活動を行なっていく。エコパークに関連した町独自の制度や事業を考え、展開しオリジナルの町づくりを進める。などと述べました。

エコパークのエリア設定を協議する専門部会を設置

今後、エコパーク登録申請に伴う「核心地域」「緩衝地帯」「移行地域」を設定する土地利用区分について協議、調整を進めるエリア設定のための専門部会が設置されました。専門部会は8月ごろまでに原案をまとめる計画で検討を行います。

部会員は検討委員の中から学識経験者5名、関係団体の役員1名で構成されています。（専門部会員名簿参照）

只見の自然環境を再認識・登録へ



ユネスコエコパーク…？

ユネスコエコパークは人間と自然との共生実現に向けてユネスコが取り組む「人間と生物圏計画」の主要事業です。

国際的に価値が認められることでの自然保護の推進、学術研究や教育への活用、地域振興への効果が期待されます。

只見町は平成24年度中のユネスコへの申請を目指し活動を行なっています。

エリア設定のための専門部会員

(順不同・敬称略)

役職名	氏名
福島大学 名誉教授	櫻村 利道
新潟大学 教授	崎尾 均
横浜国立大学 准教授	酒井 暁子
森林総合研究所多摩森林科学園 園長	吉丸 博志
日本自然保護協会 保全研究部長	朱宮 丈晴
関東森林管理局会津森林管理署南会津支署長	中島 朝長



町はエコパークの登録を契機に豪雨災害からの復興と総合的な地域振興を目指していきます。

「連携して登録を目差す考えを表しました。」

目黒町長は「人と自然が共生する地域社会の重要性を只見から発信したい。自然環境を学ぶ学習拠点にもなってほしい」と述べ、県の協力やエコパークの認知度向上対策を盛り込んだ要望書を内堀副知事に手渡ししました。内堀副知事は「登録で地域の資源が輝き、広く知られる機会につながっていく」と述べ、町と県が連携して登録を目差す考えを表しました。

**目黒町長が
福島県に協力を要請**

ユネスコエコパークへの登録実現に向け、目黒町長が6月13日に福島県庁を訪れ、内堀雅雄副知事と面談、県の全面的な支援を要請しました。

利用者のニーズにこたえる
介護施設が誕生

桜の丘みらい
7月2日オープン

株式会社コスモメディア
カルサポート（郡山市）
が運営する介護施設「桜の丘みらい」が只見字原地内に7月2日、開所しました。内覧会も6月30日と7月1日に行われ大勢の方が訪れました。

また、地域住民の代表者や利用者のご家族らが構成員となる運営推進会議も定期的な開かれ、介護などの要望について意見交換が行われます。

桜の丘みらいが提供するサービスの概要をご紹介します。

小規模多機能型居宅介護

『桜の丘みらい』

管理者 矢沢 広子さん

初めまして、『桜の丘みらい』と申します。

只見地区にも介護支援の場ということで、7月2日に開所致しました。内覧会には、大勢の方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。『桜の丘みらい』には、デイサービスと小規模多機能型居宅介護の2つの事業所があります。それぞれの特徴をうまく利用して、地域の皆様方の『自宅で暮らしてゆく生活』をお手伝いできるように、職員一同、明るい笑顔と軽いフットワークで皆様方の声にこたえてゆきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護とは…?

小規模多機能型居宅介護は、通い(デイサービス)を中心に利用しながら、必要に応じて「宿泊」したり、「訪問介護」を受けることができるセットメニューのようなサービスです。

ご利用される方は、顔なじみのスタッフから3種類の介護サービスを受けることができるため、心穏やかに安心してご利用いただくことができます。

ご利用は要支援1～2・要介護1～5の方が対象で、登録人数は25名です。

料金設定は…?

利用回数によるものではなく、定額制（月額）となっています。

介護報酬1割負担のほかに、家賃・水道光熱費（宿泊の場合のみ）や食費など実費が必要となります。

メリットは何…?

- ・ケアプランを作り直さなくても、必要に応じてデイサービス・ショートステイ・訪問介護の3つを臨機応変に選べます。
- ・1ヵ月あたりの利用料が定額なので、毎月の介護費用が膨らみすぎません。
- ・顔なじみのスタッフや利用者との交流がはかりやすい点です。

個人情報の保護について

個人情報個人の人格尊重の理念のもとに慎重に取り扱われるべきものであることから、「桜の丘みらい」が保有する個人情報の適正な取り扱いと事業の適正から円滑な運営を図りつつ、個人情報の不正アクセス・個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えいの防止に努めます。

通い

ゆっくりとした時間の中で馴染みの方との会話をしながら、入浴サービス、レクリエーションを受けられます。希望に応じて自宅まで送迎もします。

宿泊

お一人ずつ個室となっているため、安心して過ごしていただけます。通いと同一職員が夜間も対応します。

訪問

お宅へ訪問して生活の支援や身体介護を行います。体調不良などの見守りや、電話で様子をうかがうこともできます。

デイサービス

デイサービスとは

日帰りで入浴、食事、機能訓練、日常生活訓練、レクリエーションなどを提供するサービスです。

介護保険で利用します

要支援1～2、要介護1～5の介護認定を受けた方が利用できます。

利用者様本位のサービス提供

おひとりおひとりの状況とご希望に合わせた適切なサービス提供に努め、可能な限り自立した生活が送れるように支援をいたします。

個人情報の保護について

個人情報が、個人の人格尊重の理念のもとに慎重に取り扱われるべきものであることから、桜の丘みらいが保有する個人情報の適正な取り扱いに努めます。

デイサービスの一日の流れ

8:30 お迎え

ご自宅までお迎えに伺います。

9:20 健康チェック

お茶を飲み一息、看護師による体温・血圧・脈拍の測定を行います。

10:00 入浴

大浴場での入浴をお楽しみください。ご希望により個別の入浴も可能です。

12:00 お食事

バランスのよい美味しいお食事をお楽しみください。また、必要に応じて、やわらかさ等ご対応いたします。

12:30 口腔ケア

ブラッシング、うがいを行い、お口の中を清潔に保ちます。

12:45 お昼寝

畳の上やベッドでおくつろぎください。

14:00 体操・機能訓練

様々な体操をお楽しみください。機能訓練の提供もいたします。

15:00 おやつ・団らん

テーブルを囲みお話をしながら、おやつの時間です。

15:30 レクリエーション

様々なレクリエーションをご用意いたします。季節ごとにあわせた楽しいイベントも開催いたします。

16:30 お送り

ご自宅までお送り致します。

場所のご案内



施設の所在地

〒968-0421

福島県南会津郡只見町大字只見字原707番地の1

桜の丘みらい

TEL 0241-82-5006 / FAX 0241-83-1956



株式会社コスモメディカルサポート

〒963-8025 福島県郡山市桑野三丁目12番2号

TEL 024-935-5600 / FAX 024-935-5626

県南・会津・南会津地域給付金のお知らせ

東日本大震災に伴う原子力発電所事故により被ったブランド・イメージの低下、差別、偏見、風評等による被害の回復に向け、多様なブランド・イメージ回復活動を行う地域住民へ給付金を給付します。

○給付対象者

平成23年3月11日（東日本大震災当日）に只見町に本拠があった方で、次の①～③のいずれかに該当する方

- ①. 只見町の住民基本台帳に記録されている方
- ②. 只見町の外国人登録原票に登録されている方
- ③. ①、②の方以外で只見町に本拠としての住居があった方

※住民票はなくても、生活の本拠が只見町にあることの証明ができる方は給付の対象となります。

※住民票があっても、生活の本拠がない方は給付の対象とはなりません。

※東京電力株式会社から賠償金（自主的避難等に係る精神的損害、避難に伴う精神的損害）を受けている方又は請求可能な方は、給付の対象とはなりません。

※県南・会津・南会津地域の他市町村と重複して給付を受けることはできません。

○給付額

区 分		給 付 額
子 ども	平成4年3月12日から平成23年12月31日までの間に生まれた方	20万円
妊 婦	平成23年3月11日から平成23年12月31日までの間に妊娠していた期間があった方	
そ の 他	子どもまたは妊婦以外の方	4万円

○申請書について

7月20日を目安に、各世帯に郵便で申請書（請求書）を配布します。必要事項を記入し、同封の返信用封筒で返信するか、役場または朝日・明和地区センターに提出してください。（7ページに記入例があります。）

○申請期間

7月23日(月)から12月21日(金)までの間（5ヵ月間）

○申請者

原則として世帯主が申請します。世帯主が死亡等により申請を行うことができない場合は、

- ・世帯構成者の方
- ・相続人（1人世帯の方が亡くなられた場合）

が申請者となります。

※代理申請を希望される場合、次の方が代理人となることができます。

- ・世帯構成者の方
- ・法定代理人
- ・申請者本人の身の回りの世話をしている方（親類、民生児童委員、区長など）で町が特に認めた方

○給付方法

原則として口座振替で行います。口座の記入欄には、申請者又は代理人の口座を記入してください。給付決定後に、受給者に「振込決定通知書」が送付されます。

○その他留意事項

県南・会津・南会津地域給付金の支給をよそおった振り込み詐欺にご注意ください。給付金の支給のために、手数料などの振り込みをお願いすることはありません。

○問合せ先

総務企画課総務班（電話 0241-82-5130）

将来に誇れる安全な川づくりを…

黒谷川・叶津川改良復旧事業工事開始

福島県は、昨年7月の豪雨により被害を受けた黒谷川と叶津川の改良復旧事業工事を6月6日に開始、同日、黒谷字黒下地内の現地です安全祈願祭と起工式が行われ、目黒町長はじめ関係者約100人が出席、安全祈願祭では代表者が玉串奉奠などで工事の無事故を祈った後、起工式では、目黒町長が「地域が将来に誇れる安全な川づくりをしてほしい。期待しています」とあいさつしました。その後、村田文雄副知事の起工宣言に合わせ、代表者が河川で工事を行う重機の起動ボタンを押して、工事の開始を祝いました。

黒谷川の工事は平成26年度まで約6・6キロの護岸工事などを行い事業費は約33億円。叶津川の工事は平成25年度まで約3・1キロの護岸工事などを行い事業費は約14億円となっています。



▲玉串をささげ、安全を祈願する目黒町長

住民の安全確保に万全な対策を…

只見町と電源開発が協定締結

昨年7月に発生した豪雨災害を受け、只見町と電源開発とで「ダム放流時の通報並びに住民への周知等に関する協定」を締結しました。締結式は6月25日に役場本庁で行われ、目黒町長と大倉雅哉電源開発東日本支店長が協定書にサインしました。

目黒町長は「協定を有効に運用し、住民の安全確保に努めていく」と述べました。協定では、大雨に伴うダム放流時に電源開発が事前に町に通報することや、お互いに連携して住民への周知に取り組むことなどが定められています。なお、詳細については住民の意見を考慮し調整されます。

100万人のキャンドルナイトを考える

100万人のキャンドルナイト

只見川公園を会場に6月16日、100万人のキャンドルナイトin只見が実行委員会の主催で行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

公園内には只見高等学校のボランティア部の皆さんなどが約千本のろうそくを設置、灯りをつれ、ろうそくのやさしいオレンジ色の光は幻想的な夜の世界を作りだし、訪れた方々はエコエネルギーの大切さやエコライフの必要性などを考えながらスローな時間を過ごしました。

会場内ではアコースティックライブなどが行われたほか、只見高等学校の茶華道部の皆さん



▲只見高校茶華道部のお茶会

によるお茶会もブナセンター内で催され、訪れた方は癒しのひとときを楽しんでいました。



▲幻想的な夜を演出したキャンドルの光



▲協定書を手にする目黒町長(左)と大倉電源開発東日本支店長

農村生活を体験・農家の方と触れ合う
東邦大学付属東邦中学校農家民泊



▲畑に野菜の種をまく中学生

只見町子ども農家体験協議会の主催で、6月6日から7日の二日間、農家民泊事業が行われ、東邦大学付属東邦中学校（千葉県習志野市）の2年生、268名が参加しました。

受け入れは、只見町と南会津町で行い、只見町では36軒の農家に149名の生徒が宿泊し、畑で野菜の種をまいたり、肥料や水を与えたり、除草作業を手伝ったほか、そば打ちを体験した生徒もいました。また、夕食の準備も一緒に手伝い、焼き肉などを食べながら、生徒の皆さんは目を輝かせ農家の方と語り合い、自然に



▲大自然にかこまれ記念の一枚

囲まれた只見の夜を思い思いに楽しみました。

農家民泊に参加された中野凌さんは「畑での作業は大変でしたが、只見は自然がきれい、山がいっぱいあつてすごい。住んでみたいくなりました」と話し、遠藤有紗さんは「畑には虫がたくさんいて大変でした。只見は山がいっぱいいて空気がおいしい。ずっとここにいたい気持ちです」と感想を話しました。

この事業は、福島原発事故に伴う風評被害を払拭することも目的の一つに実施されています。

タイの大学生ら只見町を訪問
青少年国際交流「キズナ強化プロジェクト」



▲只見町を訪れたタイの大学生と先生

外務省が主催し行なっているアジア地域や北米地域の青少年が、東日本大震災や豪雨災害による被災地を訪れ、地域の方と交流しながら復興状況などを学ぶ「キズナ強化プロジェクト」事業の一環で、6月26日から29日の四日間、タイの大学生23名と高校生1名が只見町を訪れました。

大学生らは、季の郷湯ら里で只見民芸品保存会の方の指導を受け、つる細工でザルを作ったり、昨年の豪雨で被害を受けた黒谷川を見学、福島県担当職員から被災状況や復旧工事などの説明を聞きました。その後、福島県環境検査センター南会津営



▲明和小学校の児童と記念の一枚

業所（黒谷）で食品の放射線量検査の様子を見学、放射線が人間に与える影響などを学びました。また、明和小学校を訪れ、授業に参加したり給食を食べたりして全校児童と交流したあと、体育館でお別れ会を行い、大学生代表のナティウット・ゲオインターさんが「皆さんと触れ合えたことは一生忘れません。只見町で学んだ災害や復興の様子はタイに帰って広く伝えていきます。只見町が早く復興することを願っています。ありがとうございます」とあいさつしました。今回の事業で体験されたことは大学での研究活動などに生かされるということです。

福島県学校歯科保健優良校表彰

明和小学校が優秀賞受賞

福島県教育委員会などが主催する平成24年度福島県学校歯科保健優良校表彰（第56回よい歯の学校表彰）において、明和小学校が優秀賞を受賞しました。この表彰は、児童生徒に歯や口の健康について関心を持ってもらうことや、健康観を育成することを目指し、毎年行われています。明和小学校児童の歯を大切にす毎日の活動が評価された結果と思います。おめでとうございます。



▲賞状を手にする小林和俊明和小教頭(中)と目黒町長(右)と久保副町長

中静 透教授 森林の「生態系サービス」を講演

第1回ブナセンター講座



▲森林の生態系サービスを解説する中静透東北大学教授

6月16日、只見町ブナセンター（ただみ・ブナと川のミュージアム）で「森林の恵みとその背景・生態系サービスを考える」と題し、第1回ブナセンター講座が開かれました。講師は東北大学大学院生命科学研究所の教授「中静透」氏で、町内外から40名の参加がありました。中静氏は、日本におけるブナ林研究の第一人者であり、2001年に只見で開かれた第1回世界ブナサミットの講演者の一人で、奥会津森林生態系保護地域の設定委員会の委員を務められるなど、只見のブナ林とは深いつながりがある方です。

森林の生態系サービスは、人々が享受する森林からの恩恵

中静氏は、まず生態系サービスを、森林で言えば、「森林の恵み・恩恵」と言ったもので、それは単に木材とか、山菜、キノコといった直接的な「森林の生産物の供給」と言ったものばかりではなく、森林の持つ気候緩和や水土保全、病虫害の防止などの「調整機能」、そしてレクリエーション、保健休養、信仰など「文化的な機能」を含めた広い役割を指すことを解説しました。さらに、こうした機能が実は生物多様性と深く結びついていると指摘しました。しかし、中静氏は、生物多様性を希少な動植物の保護・保全という狭い意味で捉えるのではなく、地域の多様な生態系の存在とそれを背景とした豊かな生物相、さらに遺伝的な多様性と地域の固有性の保全が重要であること

を事例を挙げながら示しました。

失われて初めて理解される森林生態系の役割

只見町に暮らす私たちは、余りある豊かな自然の恵みを享受している結果、日ごろ森林の役割を意識することがありません。一方で、昨年の豪雨災害の驚異は、自然がもたらすものは恵みだけではないことを私たちに知らせました。それでも、私たちは自然の系（システム）に依存することしか生きていく術を持ちません。失われて初めて自然の役割の大きさを知ることになります。そのときは既に手遅れかもしれませんが、今回の講座は、森林の恩恵（恵み）を科学的な視点でとらえ直し、その重要性を理解し、今後の生活に生かしていくためのよい機会になったと考えます。

中静氏と 榎戸のブナ林を散策

17日は、榎戸のブナ林で「身近なブナ林」を歩く自然観察会が開かれ、雨模様にもかかわらず、町内外から15名が参加しました。榎戸のブナ林に入り、前日講演された中静氏が、ブナの



▲榎戸のブナ林内で、ブナ稚樹の年齢の調査法を学ぶ参加者

種子生産から実生の発生、そして世代交代のプロセスをわかりやすく解説、参加者も実際に林床に生残する稚樹の樹齢を芽鱗痕の数から調べるなどして、ブナ林の生態について理解を深めました。参加者からは、身近なブナ林でも、そのすばらしさを知る機会が持てたと感想が聞かれました。

8月1日には、ブナセンター名誉館長の河野昭一先生（京都大学名誉教授）とブナ天然林を歩く観察会も予定されていますので、ご参加ください。

【問い合わせ】

只見町ブナセンター
0241-72-8355

基礎学力の向上と保障のための連携

町内保育所長・小中学校長・
高等学校長連携会議

教育委員会では、幼児・児童・生徒の様々な課題を関係機関が連携し解決を図りながら、将来を担う子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的に、学力向上を目指した各種対策を実践しています。

その一環として、6月11日に只見地区センターで、第1回町内保育所長・小中学校長・高等学校長連携会議が開かれ、関係者が出席、町内の児童生徒の学力の現状を把握し、学力向上を図るために取り組む課題や、今後の重点実践事項などについて協議、確認されました。次回は11月に開く予定で、具体的な取り組みの検証が行われます。

なお、学力の実態と実践事項は次のとおりです。



▲連携会議の様子

○学力の実態

平成23年度のNRT（町独自に実施している標準学力検査）の学力偏差値の結果です。学力偏差値とは、教科の得点ではなく全国基準による学力標準得点で、全国の平均を50としています。

	国語	算数・数学	社会	理科	英語
只見小学校	54.3	52.9			
朝日小学校	51.3	50.7			
明和小学校	54.8	52.9			
只見中学校	49.7	46.5	48.6	48.7	48.4

【課題】＊小学校では全国平均50を十分上回る状況ではない。

＊中学校では全国平均を下回っている。また、学力の高い層と低い層の二極化がみられ、さらに知能と学力の関係では、知能に比べて学力が低い状況が多くみられる。また、家庭での自主的な学習習慣が確立できていない。今後、高校卒業時に自分の夢を実現させるのに十分な学力の保障をしていかなければならない。

○重点実践事項

①学習意欲の喚起

各学校の大きな課題。学校経営の重点と位置付け、家庭と連携し対策を講ずる。

②個別指導の徹底

少人数の特性を生かし、授業で学習内容の定着を図るとともに放課後や休業中を活用した指導を徹底する。

③教師の指導力向上

年間の授業研究を通して「分かる授業」づくりをしていく。

④スポ少や部活動の見直し

関係者との協議を重ね生活全体の見直しをしていく。

⑤保護者の協力

家庭での基本的な生活習慣の確立を図る。

⑥読書への親しみ

特に、保育所では学力の基礎としての読書量を増やしていく。

以上について、関係機関・団体と連携し、今年度取り組んでいきます。



平成24年7月1日付で藤田節子さん（只見）が、只見町担当の人権擁護委員として法務大臣の委嘱を受けました。

人権擁護委員は全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行います。住民の皆さんにとって、人権に関する一番身近な相談相手となる人です。

只見町では、藤田さんのほかに菅家達朗さん（黒谷）、山内妙子さん（梁取）も人権擁護委員の委嘱を受けて活動しています。

人権擁護委員に
藤田節子さん

My
Town
Topics



わたなべ はなか
渡部 花香さん(大倉)



ひらの ななほ
平野 七帆さん(小林)

虫歯のない子
[6月13日3歳児健診]



まつなが さや
松永 紗弥さん(只見)



わたなべ たくと
渡部 巧人くん(小川)

只 成人教育・生け花教室
見に咲く花で生け花をアレンジ

教育委員会では、成人教育の一環で町民を対象に生け花教室を開いています。参加者は9名で、第2回目の教室が6月20日に只見地区センターで行われました。講師は渡部弘子さん(樋戸)で、地域資源を生かした生け花を楽しむことをテーマに、この日は町内に見られるツゲやシャクヤク、シランなどを使い、講師の指導を受けながら、参加者独自の感性で生け花を仕上げていました。この教室は12月まで全8回開かれる予定です。



▲リラックスムードのなか生け花を楽しむ参加者

湖 只見湖岸健康マラソン&ウォーキング大会
面に映る山々を眺め健康づくり



▲勢いよくスタートするマラソン部門の参加者

町体育協会の主催で、6月17日に只見湖岸健康マラソン&ウォーキング大会が只見ダムと町下地区周辺を会場に行われました。マラソン部門とウォーキング部門合わせて159名が参加、皆さん思い思いのペースで走ったり歩いたりして、楽しく汗を流し全員が完走、完歩しました。各部門の優勝者は次の方々です。おめでとうございます。

【マラソン部門】

- 2.5km 吉津 遙くん(朝日小学校)
- 4.1km 飯塚 拓真さん(只見高等学校)
- 8.2km 小川浩一郎さん(只見)
- 2.5kmペア 鈴木 ゆかさん・来菜さん(只見)

【ウォーキング部門】

- ラッキー賞(4.1km) 鈴木 利佳さん(只見)

健 子育てひろば事業 やかな心と体づくりをサポート

教育委員会では、子どもたちの基礎体力の向上や生活・学習習慣を身につけることなどを目的に「子育てひろば事業」を新たに行なっています。参加している児童は明和小学校の1年から5年生の希望者25名で、6月6日に明和地区センターで行われた開始式をスタートに毎週水曜と金曜の放課後、同校体育館などを会場に、ただみコミュニティークラブの方が指導者となり、みんなで楽しく汗を流しています。今年度は来年2月まで活動していく予定です。



▲遊び感覚で楽しみながら運動する児童

南 明和地区センター運営委員会清掃作業 会津町との境界付近を清掃

明和地区センター運営委員会のまちづくり部会メンバー8名が6月20日の夕方、只見町と南会津町の境界付近の国道と県道沿いをきれいにしようと、草刈りやゴミ拾いなどの清掃作業を行いました。参加者は、梁取地区の国道と二軒在家地区の県道沿いや駐車スペースなどの周辺を草刈り機できれいにしたあと、捨てられた空き缶やゴミを拾い集めました。作業を行なった方々は、ゴミのポイ捨ては絶対にしないでほしいと、願いを口にしていました。



▲美しいまちづくりに貢献される参加者

可 蒲生岳山開き 儼なヒメサユリに心和む登山客



▲緑に染まる山々をバックに山頂を目指す登山者

蒲生集落活性化委員会が主催する「蒲生岳山開き」が6月3日に開かれ、町内外から220人が標高828メートルの山頂を目指しました。蒲生集会所で安全祈願の神事が行われ、記念バッジと特製ポストカードを受け取った参加者は笑顔で登山を開始しました。この日は天候も良好で、登山道わきに咲いたヒメサユリやツツジなどが登山客を和ませ、山頂では残雪の山々が360度見渡せる絶景に登山者は、疲れを忘れカメラのシャッターを切っていました。

黒 朝日小学校6年生・総合学習 谷館跡発掘調査を体験



▲只見の歴史と文化を体験で学んだ児童

只見町教育委員会が調査を行なっている「黒谷館跡」発掘調査現場（朝日地区センターわき）を朝日小学校の6年生11名が6月11日に訪れ、発掘調査に挑戦しました。総合学習の社会科体験見学により行われた授業で、児童は説明を受けたあと、移植シャベルなどで丁寧に土を削り遺物を探す作業を手伝いました。約2時間の作業で見つけた土器の破片は10個以上、終了間際には大きな破片も掘り当て、只見の歴史に直接接触した児童は心から感動した様子でした。

先生のLife in JAPAN

Vol.18

■ Anna・George

・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
・2010年8月から只見町英語指導助手。
・小学校と中学校で語学の指導を行います。



相変わらず時間は早く過ぎていきます。現在、すばらしい気候の中で生活していますが、もう少し暑く暑い日々が来ることでしよう。イギリスはそれほど湿度が高くありませんし、ほんとに暑い日は年に数回しかありません。ですから、そういった点では私が日本で過ごす時に大変な思いをします。しかし今年はどうなかに暑くても、夏の間に日本のすばらしい自然を満喫したいと思っています。

先日、若松で開かれた福島フェスティバルin会津に行ってきました。それはそれはすばらしかったです！たくさんのおパフォーマーやダンサーが集まりました、夕方になるとデイズニーの



(訳・只見中・平野)

パレードも開かれました。そのパフォーマーたちは日本全国から集まったそうです。私は特に福岡の大牟田大蛇山祭りの「龍」が気に入りました。【写真】

現在ランニングと運動の強化トレーニングを行っています。10月に行われる只見トリムランの10km走に出場しようと思っています。しばらくの間、十分な運動をしていなかったため、地道に取り組んでいきたいと思っています。

ALTとして勤務してきて、日本を離れていくたくさんの方達を見ていると、私自身も今後そうなることを考えてしまいます。私はもう一年この日本にいる契約をしました。その最後の一年も楽しく、充実させ、たくさんの方のすてきな思い出を持って帰りたいと思います。

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 若山 隆

『後発医薬品を使ってみよう！』

今回は後発医薬品（ジェネリック）についてのお話をしたいと思います。

後発医薬品は新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に、同等の品質で製造販売される同じ有効成分で効能・効果の等しい医療用の医薬品です。そして、薬の価格は先発医薬品の概ね7割（3割引き）以下、中には5割（半額）以下の薬もあるなど、先発医薬品と比べて大幅に安いのが特徴です。なぜ安いのかといえ、新薬（先発医薬品）の開発には、9年から17年程度の長い期間と数百億円もの莫大なお金がかかり、それが値段に反映されます。一方、後発医薬品は有効性や安全性が既に確認されている先発医薬品の有効成分を利用するため、開発期間や経費がかからず、薬の価格が安くなるのです。安全性や効果についても、後発医薬品は、国の厳格な審査を受け、先発医薬品と同等であると承認されたものなので安心です。

少子高齢化が進むなか、医療費もどんどん高くなっています。皆さんが処方箋をもらっ

て薬局で支払う金額の約3から9倍が医療費として使われたことになっています。このまま医療費が増え続けなければいずれば現在の医療体制を維持できなくなります。国も医療費を節約するため、躍起になって後発医薬品を普及しています。

①安い、②安全、③安心の後発医薬品をどんどん使ってみましょう！

大分暑くなってきました。水分摂取など心がけ、暑さにもめげぬよう、お元気で過ごしていただきたいと思います。



町史

とっておきの話

216

南相馬市博物館学芸員

稲葉 修

只見とっておきの魚たち ⑥

只見の川・魚・

そして人

川にいる魚たちは、エサとなる川底の水生昆虫や川の周りの森にすむ虫、生活の場である川の中の瀬や淵などの環境に支えられて生きています。魚を放流しなくても、山・森・川の環境のバランスが保たれていれば、魚は増えていくと思います。逆に、いくら水が流れていても、山にブナなどの自然林が残っていない限り、魚の生活にはマイナスとなるでしょう。春先の雪融け水も川の生き物にとって重要です。増水は川の中を変化させ、新たな魚の隠れ場をつくったりするなど、河川環境をリフレッシュします。

只見町は、山にはブナの森が広がり、川辺には貴重なユビソヤナギが自生し、魚のエサとなる昆虫をはじめ、たくさん植物や動物が生活できる多様な環境があります。その森や川には、豊かな恵みを求めて人々も集います。これは、おじいちゃんやおばあちゃん、そのまたおじいちゃんやおばあちゃん、それより、ずっとずっと昔の代から、代々受け継がれ守られてきた町の宝物です。そんなすばらしい自然が、只見町には残っているのです。

昨年7月の集中豪雨による被害は、尊い命や大切なものをたくさん奪ってしまいました。しかし、町の人々は、ずっと昔から、自然の猛威にさらされることはあっても、ブナの森や川から命の恵みを授かりながら豊かに暮らしてきました。洪水により、只見町内の川は、大きく様子が変わってしまったところもあります。時間がかけてもとの自然に戻っていくと思います。

今、只見町の水辺にはいくつもの問題があります。そのひとつが田子倉湖に放流されてしまったブラックバスなどの外来種です。興味のある人は釣ってみてほしいと思います。実際に自分の目で確かめることで、たくさん発見があるでしょう。田子倉湖では何を食べているのか、なぜアメリカの魚が放流されたのか調べてみてください。そして、外来種と在来種の関係から、未来の町の川がどうなっていくのか考えてみてください。



森と川は只見の宝物

町民文芸



只見短歌会

五月詠草

大塚栄一 指導

関谷登美子

老いゆくも病なき日を願ひつつ膝の手術を受けしことあり

斎藤ちひろ

又一人老いて離農をせしと言ひ若きらに従ふ友の心は

五十嵐夏美

農作業忙しくなりて来し友の電子機への誘ひ甘んじて受く

古川 英子

分け遣りし都忘れが咲きしとふ被災地の友と長き電話す

渡部ゆき子

萌え出でし蓬摘み取り湯搔きして冷凍庫に入れ冬に餅搗く

吉津 政枝

亡き友の愛で来し花ぞライラック咲きて懐かしき面影浮かぶ

馬場 八智

老人車に体ゆだねて歩み行く友は露の臺摘みて押し居し

目黒 富子

切干しを広げ置きたる薄縁うすべりが風に捲れて大方こぼす

渡部ヨリ子

亡き母の鯉漬け想い作らむと山椒入れしが味は及ばず

新国 洋子

退院後も低血圧の続きるてたゆき体の置きどころなし

(出 詠 順)

只見俳句会

六月例会

目黒十一 指導

隆 堂

水切りの波縫う石や夏来たる

自然都市宣言の町ブナ若葉

邦 夫

鍬の柄を終えて首振る土壇割

住み慣れし此処が天国更衣

リウコ

半ズボン履きし学童足勇む

夕顔の植うる所を探しおり

笑 羊

病室に居て母の日となりぬ

抜歯済み昨日に続く夕立かな

都

花冷えや主亡き靴の揃い有り

山桜想いを綴る一ページ

洋 子

桜好きと言いつ切る人の三回忌

編みこんでしろつめくさのティアラかな

一 穂

山間や祝詞しつとりお田植祭

畝上米苗植え終わり風に立つ

敦 子

山菜取りいつもの丘の一休み

土砂崩れ入山禁止と夏の山

礼

鶯の無性に啼くよ里に来て

風鈴や煎餅かじる音立てて

修 一

放射能汚染を知らぬ蕨かな

早朝の囀り高く予定立つ

一 灯

のどかさや坂田屋敷の大時計

どの道も家路につなぎ犬ふぐり

邦 男

仮住まい退去の日取り雀の子

生きてゆく事の交わりブナ若葉

吉 児

山里や貧者の一灯初鰹

早苗饗やふくた供へて神の棚

恒 夫

星弥生七回忌
碑の夏の光の中に立ち

五月閨婆にさそわる白き蝶

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
	☎ 82-5220
企画班	
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

RECRUITMENT

募集

町職員(看護師) 採用候補者試験

次により、平成25年度只見町職員(看護師)採用候補者試験を行います。

●試験職種・採用予定人員

▽看護師 1名程度

●受験資格(学歴不問)

昭和54年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた者で、看護師又は看護婦(士)の免許を有する者、又は平成25年3月末までに取得見込みの者。

●試験の方法

▽第一次試験

教養試験、専門試験及び看護師適性検査

▽第二次試験(一次試験合格者)

小論文、面接等による試験

●第一次試験の日時・場所

▽日時

平成24年9月16日(日)

午前9時(受付)

午後4時20分

▽場所

ふくしま中町会館

(福島市中町7-17)

●発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

●採用

合格者は任用候補者名簿に登載され成績順に町長が採用者を決定します。(この名簿の有効期間は一年間です。)

●受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求

申込用紙は役場総務企画課及び朝日と明和の各地区センターで交付します。

▽申込方法

申込用紙は、持参又は郵送により役場総務企画課に提出してください。申込書を郵送する場

合は、宛先明記の返信用封筒を同封してください。後日「受験票」を送付します。

▽受付期間

平成24年7月11日～8月10日

※郵送による場合は8月8日までの消印のあるものに限ります。

●その他

詳しくは、役場総務企画課総務班までお問い合わせください。

▼問い合わせ

総務企画課総務班

☎ 0241-8215050

消防職員採用 候補者試験

平成25年度南会津地方広域市町村圏組合消防職員採用候補者試験を次により行います。

●試験職種及び採用予定人員

▽消防職員 3名程度

●受験資格

①日本国籍を有する者

②地方公務員法第16条(欠格事

項)に該当しない者

③年齢資格等 昭和60年4月2日から平成7年4月1日まで

に生まれた者

④普通自動車運転免許取得者又は取得見込者

⑤学歴は問いません

●試験の方法

①第一次試験(高等学校卒業程度)
職員として必要な一般知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。

②第二次試験
第一次試験合格者に対して、作文、個別面接、体力測定、身体検査等による試験を行います。

●第一次試験の日時・場所
▽日時 平成24年9月16日(日)
午前9時受付～正午

▽場所 県立田島高等学校
(南会津町田島字田部原 260番地)

●受験手続及び受付期間
申込用紙は南会津地方広域市

税 今月の納期

7月25日までに納めましょう

●固定資産税(2期)

●国民健康保険税(1期)

●農集排使用料(7月分)

●介護保険料(1期)

町村圏組合事務局、消防本部・各消防署出張所で交付します。必要事項を記入のうえ、南会津地方広域市町村圏組合事務局まで提出してください。

受付期間は、平成24年7月11日(水)から平成24年8月10日(金)まで(執務時間中に限り

ます)

郵便の場合は、同年8月8日(水)の郵便局の消印のあるものに限り受け付けます。

●その他

試験について詳細に記載した「実施要領」はホームページからダウンロードできます。

<http://www.ninamiazu-kouiki.jp/>

▼問い合わせ

南会津消防署只見出張所

☎ 0241-8412700

南会津地方広域市町村圏組合

事務局

☎ 0241-6210054

南会津消防本部

☎ 0241-621141

「自然首都・只見」学術調査研究助成金制度がスタート

只見町は、平成24年6月に、「自然首都・只見」学術調査研究助成金制度をスタートしました。この事業は、第六次只見町振興計画（ブナと生きるまち 雪と暮らすまち「奥会津只見の挑戦 真の地域価値観の創造」）の一環として取り組む「自然首都・只見」を具体化するための事業です。只見町内において、生物多様性の保全や持続可能な天然資源の利用などについて調査研究を行う方を対象に助成金を交付します。この研究成果により「自然首都・只見」ブランドの科学的評価がなされ、その情報が町内外に発信されることにより、地域の活性化が図られると考えられます。審査の結果、次の調査研究機関と研究テーマに助成を行うことが決まりましたので、お知らせします。

研究機関代表者	所属研究機関	調査研究テーマ
宮下 彩奈さん	東京大学日光植物園	自然林において、ブナが他種に対してより有利に更新する環境とはどのようなものかを解明
河原崎 里子さん	首都大学東京	只見地方におけるヒメサユリ個体群の広域分布と生育状況
新国 可奈子さん	新潟大学大学院	山地河畔林における大規模攪乱（平成23年7月新潟・福島豪雨）後の植生変化と更新
斉藤 真人さん	横浜国立大学大学院	多雪山地の河川流路から斜面にかけての樹木分布パターン

●調査研究は只見町ブナセンターとの連携で行われます。町内でブナセンターの腕章やロゴを付けた研究者（車両）を見かけた際は、調査中ですので皆様のご協力をお願いします。

【問い合わせ】只見町役場総務企画課企画班 ☎0241-82-5220

外国人住民の方にも、日本人と同じく「住民基本台帳法」が適用される、住民基本台帳制度が7月9日からスタートしました。これにより外国人住民の方の利便性が向上します。（外国人登録法は廃止になります）

●**主な制度の内容**

- ▽日本人と外国人とで構成される世帯の全員が記載された証明書（住民票の写しなど）が、発行可能になります。
- ▽住所変更の届出により、同時に国民健康保険などの届出がすべて届出の簡素化が図られます。

外国人の皆様へ

- ▽在留資格や在留期間の変更に ついて、従来、地方入国管理局と市町村の両方に必要だった届出が地方入国管理局のみへの届出で済みます。
- 住民票が作成される方は：**
 - ▽中長期在留者（在留カード交付対象者）
 - ▽特別永住者（特別永住者証明書交付対象者）
 - ▽一時庇護許可者又は仮滞在許可者
 - ▽出生による経過滞在者又は国籍喪失による経過滞在者
- 新制度への円滑な移行を図るために：**
 - ▽外国人登録原票を備えている只見町で、外国人住民の方の

町長室日誌

〈 6 月 分 〉

- 1日 只見町議会 6月会議、町長予算査定
- 2日 会津観光復興セミナー
- 3日 蒲生岳山開き
- 4日 「原発事故復興」及び「新潟・福島豪雨災害復旧・復興」県要望活動、福島県町村会役員会、南会津地方町村議長会懇談会
- 5日 福島県町村会定期総会、全国町村下水道推進協議会福島支部総会
- 6日 黒谷川・叶津川改良復旧事業合同安全祈願祭及び起工式、奥会津 5町村活性化協議会定例総会、只見川電源流域振興協議会定期総会
- 7日 会津縦貫南道路整備促進地方要望
- 8日 村田副知事表敬訪問、奥会津アドベンチャーキャンペーン事業記者発表、庁議、南会津地方広域市町村圏組合臨時議会
- 12日 JR只見線早期開通に係る要望活動
- 13日 内堀副知事表敬訪問
- 14日 南会津郡遺族会定期総会、庁議
- 17日 只見湖岸健康マラソン&ウォーキング大会
- 18日 国道289号八十里越合同現地視察
- 19日 只見町議会 6月第2回会議（～25日）
- 24日 西部女性のつどい
- 25日 ダム放流時の通報並びに住民への周知等に関する協定書締結式
- 26日 南会津地方町村長視察研修（三陸方面～28日）

東日本大震災等の記録や体験談を募集

県では、次の世代に継承していくことを目的として、東日本大震災や原子力災害などの体験、記憶、記録、教訓などを募集しています。

ご協力いただける方は、福島県歴史資料館までご連絡をお願いします。ファクスや電子メールでも受け付けます。

【問い合わせ】福島県歴史資料館
電話 024-534-9220
FAX 024-534-9195
メール: office@history-archives.fks.ed.jp

▼**問い合わせ**
町民生活課町民班
☎0241-82-5100

7月9日から住民票になります。仮住民票を作成し、ご本人に通知してあります。仮住民票は7月9日から住民票になります。

町民の消息

(6月1日～6月30日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

佐藤 佑たすく (男/佑介・麻美) 大倉

■ご結婚おめでとうございます

小林 湯田 誠史♡小林 平野 千穂
只見 目黒 浩二♡布 沢 小林 莉佳

■おくやみ申し上げます

酒井 農 男	84歳	只見
山内 コマン	88歳	二軒在家
菊地 春一	63歳	梁取
鈴木 咲子	88歳	只見
本間 シツイ	82歳	舘ノ川
鶴巻 泰道	83歳	梁取
渡部 ナツ子	86歳	長浜
星 敬一	90歳	二軒在家

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成24年6月1日現在

人口	4, 804 (-5)
男	2, 314 (+1)
女	2, 490 (-6)
世帯数	1, 847 (+1)
高齢化率	41.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 10 出生 3 死亡 5

▽6月26日、只見小学校の3年から6年生の皆さん7名が「ふるさと発見タイム」授業で役場本庁を見学に訪れました。皆さんそろって元気よくあいさつした後、事務室をはじめ電算室、無線室なども見学しました。町長室では、一人一人が町長のイスに座り、笑顔を見せていました。後日いただいた感想文集には役場のことがよく分かって勉強になりました。とつづられていました。只見町の未来を築く皆さんです。今回見学された皆さんの中から将来、役場職員になる人がいるかもしれませんね。ぜひなっってくださいね。

あとがき

まちづくり推進員
若林 奈津子

朝日地区センター
図書室 ☎ 84-2059

おすすめ新着図書

★置かれた場所で咲きなさい



渡辺和子/著 (幻冬舎)

本ではどんな状況下でも、その場所で「咲く」努力をしてほしいと書かれています。時間の使い方は、そのままのちの使い方である。咲けない時は無理に咲かないで、次に咲く花がより大きく美しくなるために、根を下へ下へ降ろして。など、印象深い言葉が綴られています。

著者はノートルダム清心学園理事長で、考え方の根本はキリスト教ですが、ひとつひとつの文章は、短く簡潔に書かれていますので、拾い読みして共感する章、そうでない章を読み込み想像するのも良いかもしれません。

★ひみつの図鑑



松下清/編集

(株式会社 学研教育出版)

トラの黄色と黒の縞模様はあんなに目立つのはなぜ？

生き物、植物、乗り物、地球・宇宙、建物、生活・身の回り、からだ。あらゆるものの「ひみつ」をきれいな写真で紹介されています。同じシリーズの「一生の図鑑」「いちばん!の図鑑」を購入しました。夏休みの読書などにもご利用ください。

★ぼくのとイレ



鈴木のりたけ/著 (PHP研究所)

「まいにち まいにち おんなじトイレ たまには ちがう トイレでしてみたい」ぼくはいろんなトイレを想像する。ともだちにそれぞれ似合うトイレも考える。としょかんトイレ、おはなトイレ、キャッチャートイレ…。たいへんだ!!ぼくのとイレがぬすまれた!

日本絵本大賞読者賞を受賞した作品で、同じ作家の「ぼくのおふろ」も購入しました。親子でワイワイ話し合いながら楽しめる絵本です。

★未返却の本が多くなっていますので、確認いただきまして返却をお願いします。図書室の正しい利用をお願いします。

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



モリアオガエル

(学名: *Rhacophorus arboreus*)
[アオガエル科アオガエル亜科アオガエル属]



モリアオガエルはおもに森林に生息していますが、只見町では5月上旬ごろから7月まで田んぼや水辺にでている草木の枝葉にて産卵を行います。

特徴的な泡状の卵塊は、雌の卵と共に排出された粘液を抱接した雌雄が後ろ足でかき混ぜてできたものです。

モリアオガエルには背中模様がある有紋型と、ない無紋型がありますが、只見町産のモリアオガエルは無紋型です。

モリアオガエルはシュレーゲルアオガエルと酷似しており、見分ける方法としては目の虹彩が赤褐色なのがモリアオガエル、金色がシュレーゲルアオガエルとなります。また水かきの大きさが大きいほうがモリアオガエル、小さいほうがシュレーゲルアオガエルです。

特別展示

○只見を再発見！ 「自然首都・只見」展

只見町の自然・文化・生活を、パネルや実物展示で紹介しています。ぜひご覧ください。

期間：7月16日(祝・月)まで

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。誠にありがとうございます。いただきました支援金については、災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

支援金 6,744,605円 (64件)
7月9日現在